

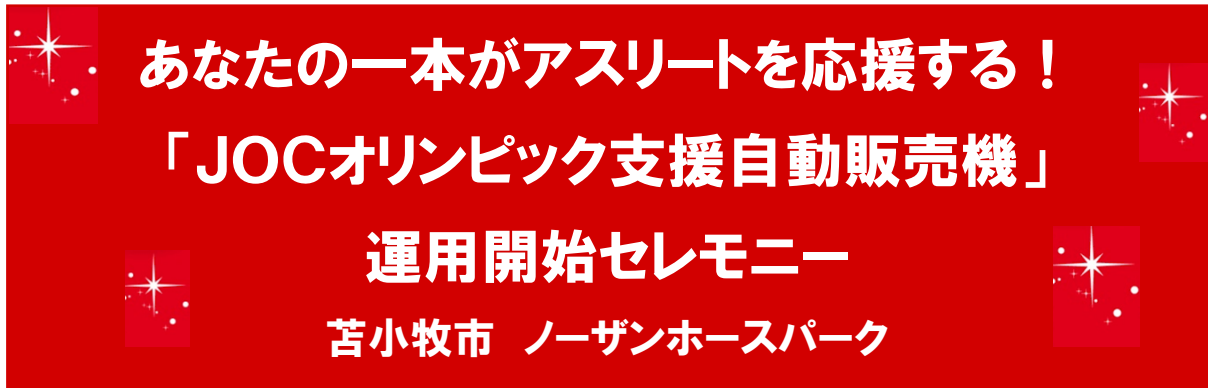


news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
〔URL〕 <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2016年9月1日

報道関係各位



コカ・コーラシステム(※)は、公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)が主催するオリンピックを目指すアスリートの強化及びオリンピック・ムーブメントを支援する「JOCオリンピック選手強化支援プログラム with コカ・コーラ」を共同実施しており、2016年1月より「JOCオリンピック支援自販機」を展開しております。

このたび、北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社:札幌市清田区 代表取締役社長:佐々木康行)は、株式会社ノーザンホースパーク様のご協力を賜り、苫小牧市のノーザンホースパーク内に、「JOCオリンピック支援自販機」2台を設置することとなりました。

この自動販売機をご利用されるお客様に、2020年東京オリンピックを目指すアスリートの強化支援のPR、開催ムードの更なる喚起に繋げていきたいと考え、「JOCオリンピック支援自販機」の運用を開始するものです。今後も、関係各所との協力のもと、2020年に行われる東京五輪の成功に向けて応援してまいります。

つきましては、運用開始セレモニーとして、苫小牧市長岩倉博文様、並びに北京、ロンドンに引き続き、リオ五輪で短距離日本代表の福島千里様をご来賓に迎え、下記の通り実施いたしますので、ご多忙の折とは存じますが、取材を賜りたくご案内申し上げます。

(※) コカ・コーラシステムは、日本コカ・コーラ株式会社、システム各社との強いパートナーシップのもと事業活動における取り組みを推進し、生産の効率化、徹底した消費者志向、市場への迅速な対応、顧客サービスの強化、厳格な品質管理など、コカ・コーラシステムの全体最適を図り、コカ・コーラビジネスのさらなる成長を目指し協働しています。

「JOCオリンピック支援自動販売機」運用開始セレモニーのお知らせ

日 時 : 2016年9月5日(月) 午後2時30分より

場 所 : ノーザンホースパーク (苫小牧市美沢114-7)

出席者 : 株式会社ノーザンホースパーク 取締役
公益財団法人 日本オリンピック委員会

広報企画部部長
当社 取締役 営業統括本部第二本部長

吉田 俊介 様

中森 康弘 様
橋田 久男

ご来賓 : 苫小牧市長
北海道ハイテクアスリートクラブ
同

岩倉 博文 様
福島 千里 様(リオ五輪短距離日本代表)
北風 沙織 様

【参考資料】

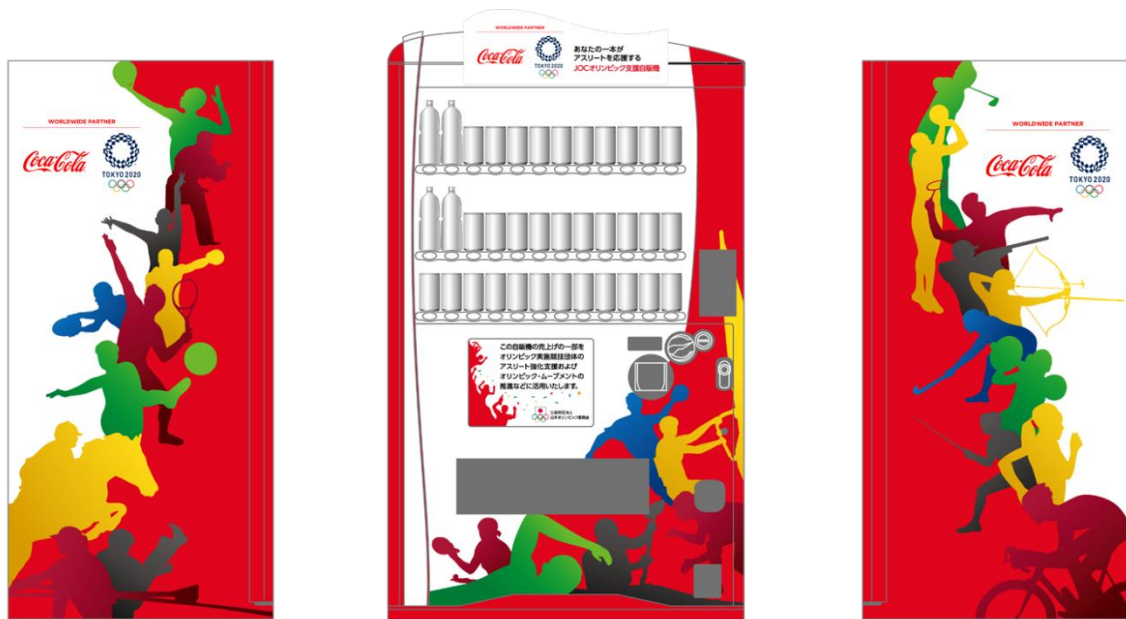
公益財団法人日本オリンピック委員会主催
「JOCオリンピック選手強化支援プログラムwith コカ・コーラ」概要

公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)とワールドワイドオリンピックパートナーであるコカ・コーラ社の協力のもと実現した「JOCオリンピック選手強化支援プログラムwith コカ・コーラ」は、JOCのメッセージポスターを掲示した自動販売機や、オリンピック競技をデザインしたオリジナルラッピングをほどこした「JOCオリンピック支援自販機」で清涼飲料水を購入すると、1本当たり数円程度が寄付される仕組みです。寄付金はコカ・コーラの各ボトリング会社を通じてJOCへ寄付され、2020年オリンピックで活躍が期待される参加団体の選手強化支援およびオリンピック・ムーブメント推進に役立てられます。なお、寄付金の合計及び配布先の競技団体等についてはJOCホームページで報告いたします。

「JOCオリンピック支援自販機」は今後、競技団体の関連施設、自治体施設、学校、オリンピックパートナー企業、空港、駅などの公共施設等に設置される予定です。

- ※北海道内での展開
- 8月31日 名寄市サンピラー交流館(1台)
 - 9月1日 名寄市文化センター(1台)
 - 名寄市エンレイホール(1台)
 - 9月5日 苫小牧市ノーザンホースパーク(2台) 合計5台

※イラスト画像のため実際の色、デザインではございません。



当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部

担当: 竹内 TEL:011-888-2091